

福島県多面的機能支払第三者委員会 第2回委員会（現地調査）

平成27年11月10日（火）10:00～15:30

1 活動組織：松川地区環境保全事業組合

意見交換会（福島市松川支所）



塩谷委員長が座長となり、意見交換会が行われた。



福島市より多面的機能支払の取組の状況の説明、松川地区環境保全事業組合より地区の概要及び活動状況の説明が行われた。



資源向上（長寿命化）の活動により、農業用水路を更新した。



組織から、多面的機能支払事業により、遊休農地化の防止や、非農家と協力して町の美化活動に取り組むようになったり、取組んで良かったとの意見があった。



環境保全活動として、ホタルの保護活動を実施。



ホタルやエサとなるカワニナが生息しやすい環境づくりが行われていた。



「田んぼの学校」の一環として松川小学校と連携し、農育を実施している。



第三者委員から苦勞していることや今後の目標などの質問があった。

2 活動組織:大平北部ネットワーク

意見交換会(大平2区集会所)



二本松市より多面的機能支払の取組の状況の説明後、大平北部ネットワークより地区の概要及び活動の状況の説明が行われた。



S(支え合い)ー1グランプリの大賞の受賞など、地域内で助け合いを意識しながら活動を実施している。



活動内容毎に写真が整理されていた。



生態系の保全のために、ビオトープを設置している。

3 総括(二本松合同庁舎)



委員からは、「外からの人を増やしていくことが大事」、「女性の力が必要」、「文化と環境を一体的に取組んでいくべき」などの意見が出された。